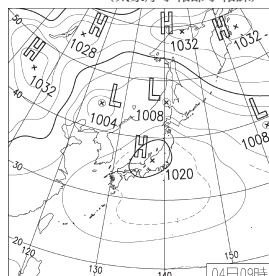


日々の天気図

— No. 148

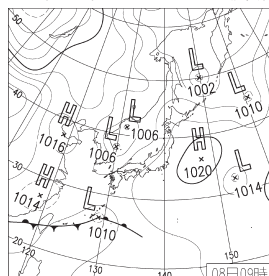
2014年 5月

- ・梅雨前線の活動が活発化し、沖縄で5日、10日、23日に猛烈な雨、10日に多良間空港で117.5 mm/1h。
- ・26日、国内で約4か月ぶりに黄砂を観測、31日まで連日観測され、地域は西～北日本まで広がる。
- ・28日～31日、全国的に気温上昇、31日には大分県臼杵で猛暑日。
(気象庁予報部予報課)



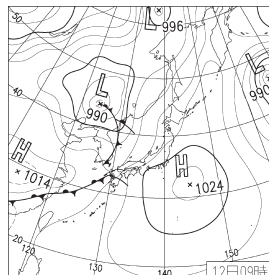
4日(日) 天気は西から下り坂

北海道は低気圧、先島諸島は湿った気流により雨。その他の地域は高気圧に覆われて晴れたが、午後は西日本から雲が広がり、夜は九州、中国で雨。旭川市でエゾヤマザクラ満開。



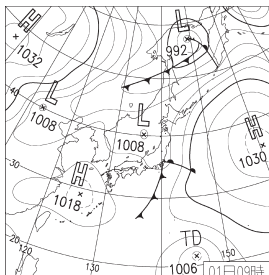
8日(木) 晴天は日中まで

日中は全国的に晴れた所が多い。夜には日本海の低気圧の東進により山陰～東北日本海側で雨。前線に近い沖縄・奄美も雨。鹿児島奄美市笠利で31.5 mm/1hの激しい雨。



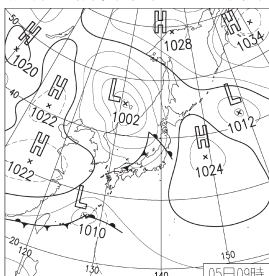
12日(月) 西～東日本で雨

沖縄～西日本太平洋沿岸で激しい雨。前線の東進に伴い東日本も次第に雨。沖縄県沖繩市胡屋で47.5 mm/1h。釧路市でエゾヤマザクラが開花し、国内のサクラ観測地点中、最後の開花。



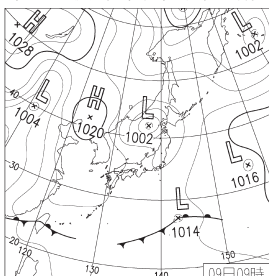
1日(木) 東北などで雷雨

関東～北日本太平洋側の雨は午前中に回復。午後は上空寒気の影響で関東、東北の広い範囲で雷雨。岩手県奥州市米里で40 mm/1h、5月の1位記録。函館市、札幌市でサクラ満開。



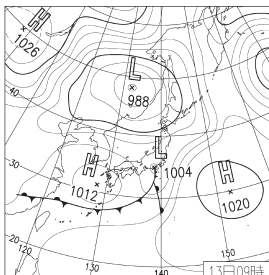
5日(月) 沖縄、梅雨入り発表

沖縄付近の前線の活動が活発化、石垣市登野城で93.5 mm/1hなど、沖縄で大雨。本州を通過した前線の影響で西～東日本も雨。北日本でも次第に雨域拡大。東京都で震度5弱。



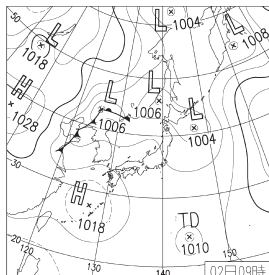
9日(金) 東～北日本で不安定

上空に寒気を伴う低気圧が北日本へ進み、午前中に青森でひょう。関東も日中昇温して大気の状態が不安定となり、午後に東京と宇都宮でひょう。東京は6日ぶりの夏日。



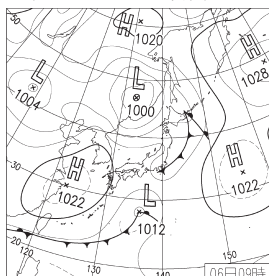
13日(火) 全国的に気温上昇

沖縄・奄美は暖湿気流入で大雨。沖縄県と那国空港60 mm/1h、与那国町祖納52.5 mm/1h。西～北日本は暖気に覆われ気温上昇。甲府の最高気温31°C。神奈川県、埼玉県で震度4。



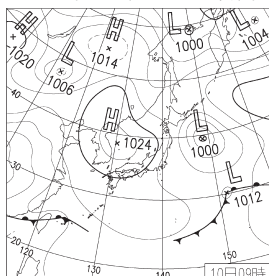
2日(金) 西～東日本で気温上昇

高気圧に覆われた西～東日本は晴れて気温が上昇。関東を中心に最高気温が7月並となった地点も。気圧の谷が通過した北日本は曇りや雨。旭川市でエゾヤマザクラ開花。



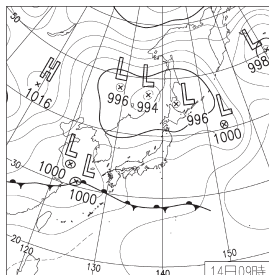
6日(火) 前線、本州の東海上へ

高気圧に覆われた西日本を中心に晴れたが、北日本は大気の状態が不安定で所々雨。関東は北東からの湿った気流により曇り、日中の気温は上がらず。旭川市でタンポポ開花。



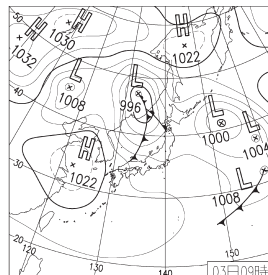
10日(土) 沖縄で猛烈な雨

日本海の高気圧に覆われ、九州～東海・関東は終日晴れ。北陸や北日本は寒気の影響により曇りで所々雨。沖縄は梅雨前線の影響で雨。沖縄県多良間空港で117.5 mm/1h。



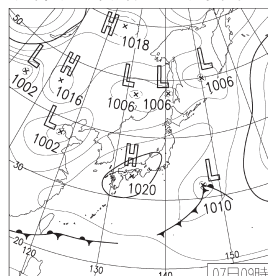
14日(水) 東～北日本で高温

西日本は低気圧の接近で雨。北海道は宗谷海峡付近の低気圧の影響で雨。その他の地域は概ね晴れて気温上昇。42地点で真夏日。釧路市でエゾヤマザクラが、国内観測地点最後の満開。



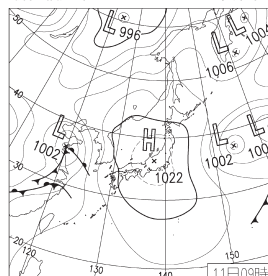
3日(土) 北日本で雨

前線の雨域が北日本を通過。北海道オホーツク海沿岸部は海霧の影響で最高気温が10°C未満。本州は広く晴れて281地点で夏日(全国の約3割)。岐阜、長野県境付近で地震多発。



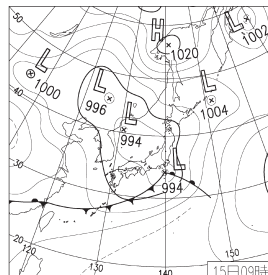
7日(水) 高気圧に覆われて晴れ

前線の影響を受けた沖縄や低気圧の影響を受けた北海道で雨。他の地域はよく晴れ、放射冷却により九州等の26地点で最低気温の5月1位を更新。網走市でエゾヤマザクラ開花。



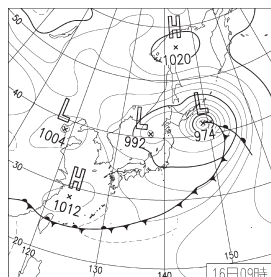
11日(日) 奄美、梅雨入り発表

沖縄・奄美で曇りや雨。その他は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ。最高気温は北日本中心に平年より高く、北海道は真夏並の所も。稚内市でエゾヤマザクラ開花。網走市で満開。



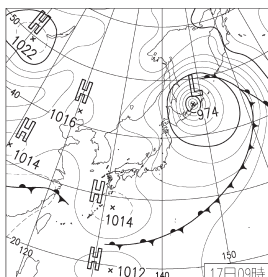
15日(木) 低気圧通過

沖縄・奄美は梅雨前線の影響で局地的に激しい雨。低気圧と前線の影響で西～東日本は雨。午後から北日本も雨。最高気温は西日本で4月並と低いが、北日本は7月並の所も多い。



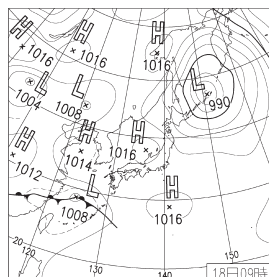
16日(金)低気圧が急速に発達

北陸～北日本で雨と強風、関東・北陸・東北は上空寒気により雷雨、山形県小国で最大瞬間風速28.2 m/s、北海道枝幸町枝幸、日降水量91.5 mmなど北海道12地点で5月1位更新。



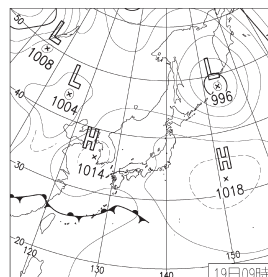
17日(土)北海道で積雪

北陸～北日本は北寄りの強風が続き最高気温は4月上～中旬並、北海道は特に風が強く広い範囲でみぞれや雪に、道東の6地点で日最大風速の5月1位を更新、羅臼で日降雪量8 cm。



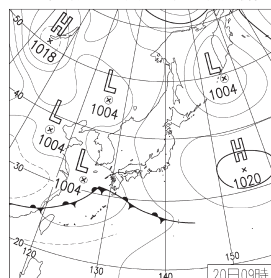
18日(日)沖縄で雷雨

暖かく湿った空気が流入した沖縄で広範囲に雷雨、沖縄県下地島空港で37.5 mm/1h。北日本は寒気が残って曇りや雨となり、旭川の最高気温は平年より10.9°C低い7.3°C。



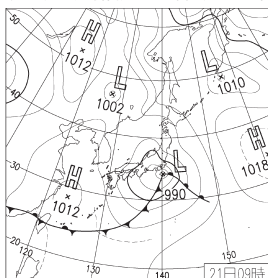
19日(月)バルカン半島で大洪水

西～北日本は、高気圧に覆われ晴れた所が多い。沖縄～九州は前線の影響を受けたが、九州の雨は朝まで。ボスニア・ヘルツェゴビナなどで記録的大雨、大規模洪水発生との報道。



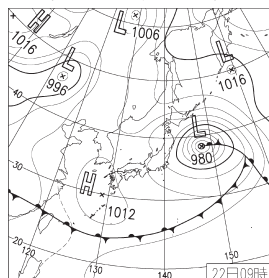
20日(火)四国などで大雨

低気圧と前線が東進、九州の雨域が夜には東日本に、高知県土佐清水市三崎で日降水量228 mm、5月の1位更新。高知県清水63.5 mm/1h、宮崎市青島56 mm/1hの非常に激しい雨。



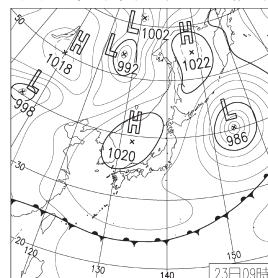
21日(水)雨は次第に北日本へ

低気圧の東進に伴い、西日本と東日本の雨は北日本へ、所々で雨が強まり、北海道などの4地点で5月の1時間降水量記録を更新。徳島県阿南市蒲生田では未明に68.5 mm/1h。



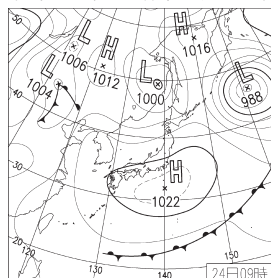
22日(木)大気不安定

沖縄・奄美は梅雨前線、東北は低気圧の影響により雨。午後～夜は、上空の寒気の影響を受けて大気の状態が不安定となり、関東を中心に西～東日本の広い範囲で局地的な雨や雷。



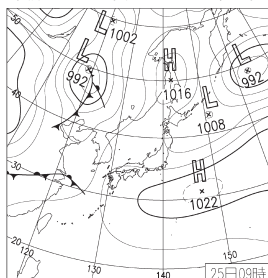
23日(金)沖縄で大雨

移動性高気圧に覆われ全国的に晴れた所が多いが、北陸～東北日本海側は寒気の影響で弱い雨。前線に近い沖縄県石垣市伊原間で81.5 mm/1h、5月の1位。京都市でホタル初見。



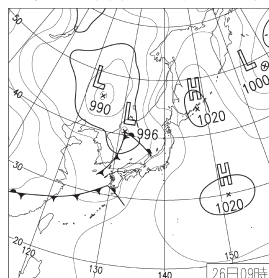
24日(土)移動性高気圧通過

北海道は気圧の谷の影響で雨。先島諸島も暖かく湿った気流により雨、その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。西～東日本は夏日の所が多く、九州を中心に14地点で真夏日。



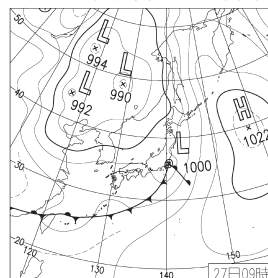
25日(日)北海道に冷氣

西～東日本は晴れや曇り、夜は九州北部で雨。先島諸島は湿った気流の影響で曇りや雨。北海道には北からの冷たい気流が入り、オホーツク海側中心に雨で最高気温は4月並に。



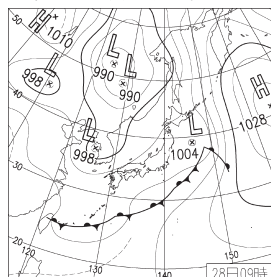
26日(月)九州などで黄砂

低気圧と前線の東進に伴い西日本から雨域が拡がり、鹿児島県、高知県などで大雨。鹿児島県南種子町上中で日降水量183.5 mm、長崎、佐賀、大分、福岡、下関で黄砂を観測。



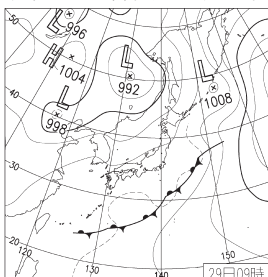
27日(火)連日の黄砂観測

沖縄は梅雨前線の停滞による雨や雷。低気圧の東進に伴い東日本は広範囲で雨。静岡県東伊豆町稲取では33 mm/1hの激しい雨。黄砂は鹿児島、熊本でも観測され、領域が南へ拡大。



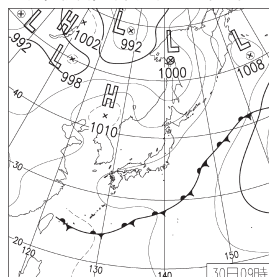
28日(水)北陸でも黄砂

中国大陸からの暖気が日本付近に流れ込み、全国的に晴れて気温上昇、真夏日104地点、鳥根県益田の最高気温32.4°C。西日本各地に加え、福井、金沢でも黄砂を観測。



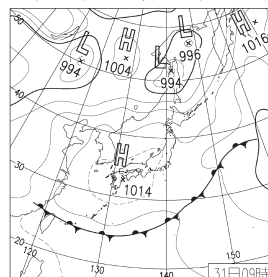
29日(木)北海道で真夏日

全国的に晴れて真夏日150地点。北海道遠軽町遠軽と生田原で33.7°Cなど、全国34地点で最高気温5月1位を更新。西日本、北陸に加え北日本でも黄砂、前橋、熊谷でひょう。



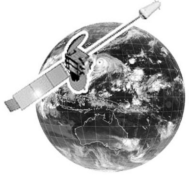
30日(金)広い地域で黄砂観測

高気圧に覆われ西～東日本は晴れ、北日本は気圧の谷の影響で曇りや雨。東海・北陸以西と北日本で黄砂。全国的に気温上昇、九州や北日本などの44地点で最高気温5月1位を更新。



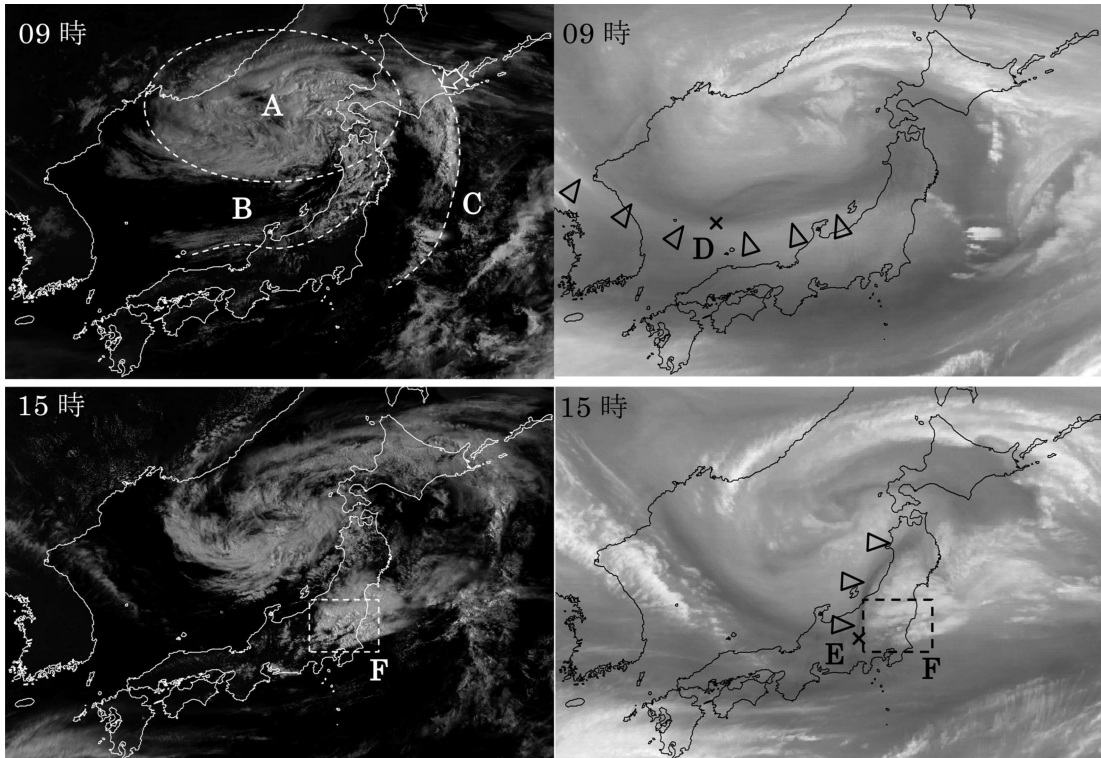
31日(土)今季内初の猛暑日

高気圧に覆われ東北以南の各地で真夏日、大分県日田では最高気温35.6°C。西日本中心に124地点で5月の最高気温1位を更新。関東を除く西日本～北日本で黄砂を観測。



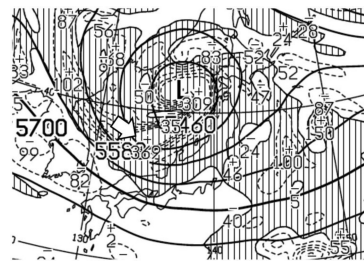
今月のひまわり画像—2014年5月

バウンダリーを伴う上層渦の接近と雷雨の発生



第1図 2014年5月9日09時、15時（日本時間）の日本付近における可視画像（左）と水蒸気画像（右）．図中の記号については本文参照．

2014年5月9日、関東地方は朝から好天に恵まれていたが、昼過ぎからは一転して激しい雷雨となった。第1図（左上）は同日09時（日本時間）の日本付近の可視画像である。日本海には寒冷渦に伴う雲域（記号A）がある。関東地方は雲バンドBとCの狭間で晴天となっている。同図（右上）は同時刻の水蒸気画像である。朝鮮半島北部から佐渡島にのびる明域と暗域との境界（記号△付近）はバウンダリーと呼ばれている。バウンダリーは上・中層における乾燥域、湿潤域などの境界であり、大気鉛直・水平方向の運動により形成される。D点付近はバウンダリーの走向が東南東から東北東に変化する領域で、ここに上層渦が存在し、第2図の500 hPa高度、渦度解析図に白抜き矢印で示した渦度極大域に対応している。第1図（下段）は同日15時の可視画像（左）と水蒸気画像（右）である。日本海西部にあった上層渦とバウンダリーは変形しながら東進し、上層渦自体は不明瞭になりながら本州中部のE点に達した。E点から北へのびるバウンダリー（記号△）の東側の領域Fでは、地表面付近



第2図 同日09時の日本付近における500 hPa高度、渦度解析図。図中の記号については本文参照。

における日中の昇温も加わり大気の状態が不安定となり、対流雲が急速に発達している。栃木県宇都宮市と東京都千代田区では、発達した雷雲の通過に伴ってひょうが観測され、また、15時頃、埼玉県さいたま市と富士見市では強風による転倒事故などで4名の負傷者が出た。（気象庁予報部予報課 野中信英）